

1

私たちの活動



The Volunteers Group
to Send Wheelchairs
to Overseas Children
JAPAN



NPO法人

海外に子ども用車椅子を送る会

2

私たちの活動

- 不要になった子ども用車椅子を収集、新品同様に整備
- 車椅子を購入できず、動くことを知らない開発途上国の子ども達に整備した車椅子を無償で贈る
- 車椅子を贈ることにより、障害のある子ども達に動くことのできる喜び、社会の人々や自然と触れ合う人間としての喜びを得てもらう

3

当会のミッション

- 恵まれない海外の子ども達に笑顔が生まれる
- グローバルに高価な資源のリサイクルができる
- 草の根レベルで国際協力と国際貢献ができる

4

当会が寄贈している車いす(見本)

自操式



自分で車輪を回して進む
リクライニング無し

介助式



後ろから介助者が押す
リクライニング

介助式



後ろから介助者が押す
リクライニング

介助式



後ろから介助者が押す
リクライニング

ストレッチャー式



イスを水平にすると
ベットになる

臥位式



うつ伏せに乗る車いす

バギー式



乳母車タイプ車いす

座位保持装置



室内専用車いす
食事や勉強をするための
車いす

5

当会が寄贈している医療機器 「子ども用（見本）」

歩行訓練器



歩行訓練器



歩行訓練器



シャワーチェア



立位保持訓練器



短下肢装具



7

開発途上国では

- 肢体不自由な子ども達の多くが家に置き去りにされている
- 子ども用の車椅子などは皆無
- 一日中ベッドのなかで過ごし日光浴すらできない子どもが多い

6

日本の補装具購入助成の矛盾

- 子ども用車いすの価格は15～25万円
- 新品購入には国、地方自治体の補助金が支給される
- リサイクル中古品には補助金が支給されない
- 新品を購入した方が保護者の負担が少ない



子どもの成長により補装具は2～3年で廃棄
(廃棄費用を支払って処分)

8

WHO（世界保健機構）推計

- 世界で車いすを必要としている人
6500万人
- (内) 車いすを手に入れられない人
2000万人
- (内) 車いすを手に入れることができない子ども
550万人

当会活動の独自性

車いすを海外に送っている団体は全国に数団体ある

■他団体（すべての団体が同じ方式、大人用も取扱う）

- ①寄贈先の国への旅行者を募る
- ②旅行者に手荷物として車いすを持っていてもらう
- ③旅行者が到着空港で団体が指定した個人に車いすを渡す

■当会（子ども用に限定）

- ①1度に80～180台をコンテナで送る
- ②政府機関、現地日本大使館などの協力を得て寄贈先の国の肢体不自由養護施設にまとまった台数を贈る
- ③施設に贈ることにより、その国の福祉充実の芽を作ること

車いすが届くまで

①車いす収集 	②寄贈先との調整 	③洗浄 	④修理
⑤サイズ・重量測定 	⑥梱包・保管 	⑦寄贈資料作成 	⑧寄贈資料送付
⑨コンテナ積み 	⑩発送 	⑪贈呈式 	⑫車いすのある生活

17カ国に26回 1942台寄贈 (2010年9月現在)



各年度の主な寄贈先

各国に届けられた子ども用車いすは、その国の養護施設やリハビリセンターなどに贈られる

10年カンボジア80台 	09年タンザニア180台 	08年パラグアイ80台
08年マレーシア89台 	08ベトナム172台 	07年ブルガリア112台

13

車いす贈呈「その後」

スリランカ



彼女は重度肢体不自由児で今まで寝たきりの生活
このイスを贈られて家族と一緒に過ごせるようになりました

ニカラグア



4歳の女の子
いつも寝かされっぱなしだった彼女
このイスを使うことで、お母さんと触れ合うことができるようになりました

ベトナム



養護施設の男子
健常者と一緒に外で遊ぶことができました

車いすを贈られた保護者からのメッセージ

14

車いす贈呈「その後」

タンザニア「国立ムヒンビリ病院」2010年1月110台贈呈



病院では贈られた車いす全てに写真のような刻印を押印して管理しています



15

車いす贈呈「その後」

マレーシア これまでに7回、508台を寄贈

- 寄贈先団体（東方政策元日本留学生同窓会）が子ども用車いすセンターの設立をマレーシア政府に申請
- マレーシア政府、これまでの当会の活動を高く評価してセンターの設立を認可
- 今後はセンターがマレーシア政府の助成を得て単に車いすを与えるだけでなく、支援活動の発展と充実をはかる

16

2010年度寄贈計画 (2010年4月～2011年3月)

- 4月 ベトナム
ベトナム赤十字社 80台
- 6月 JICA「世界の笑顔のために」 20台
※エルサルバドル向け
- 7月 マレーシア
東方政策元日本留学生同窓会 100台
- 9月 フィリピン
JVR財団 121台
- 12月 パラグァイ 100～120台（予定）
全国障害者協会
- 3月 コートシボアール or ネパール 80台（予定）
※現地と調整中

お礼状など

お礼状や子ども達のお礼の絵などたんさんいただきました



ナオチセン、4歳の女の子です。
いつも頭がせらけ、しゃべりだした4歳女を
初めて車椅子へのゼン日時は泣いてしまいました。
でも、現在は姿勢も落ち着いて、ご機嫌です。
これで産み機区が増えたい。



当会の姿勢

当会は必要経費はすべて負担、車いすの寄贈先団体、車いすを受け取った子ども達の保護者から金銭は受取らない姿勢を貫いていますが、つぎの4点は受取っています。

- 車いすを受け取った子ども達の写真
- 子ども達が描いた絵
- 寄贈先団体からの御礼状
- 車いす贈呈式の写真